

平成 30 年度 学校評価報告書（総表）

令和元年 5 月 27 日

1 学校の概要			
学校名	筑波大学附属中学校	校長名	野津 有司
幼児・児童・生徒数	607	学級数	15
2 教育目標等			
① 学校教育目標	調和的な心身の発達と確かな知性の育成、ならびに豊かな個性の伸長を図るとともに、民主的社会の一員として人生を主体的に開拓し、進んでは、人類社会の進展に寄与することができる人間を育成する。		
② 学校経営方針	<p>本校は教科教育の伝統を受け継ぎながら、筑波大学の附属学校としての先導的教育拠点、教師教育拠点、そして国際教育拠点という役割を果たすとともに、すべての教育研究は「教育課程研究に帰一集中する」という本校の伝統的な考え方にもとづきながら、教科教育はもとより、総合学習や学校行事、特別活動など教科外教育の研究・実践にも取り組むことで、学校目標の実現を目指す。</p> <p>また、小中高大との共同研究組織としての「四校研」において、小中高一貫カリキュラムの研究成果を踏まえ、グローバル及びインクルーシブ教育を特別支援学校との連携を図りながら推進する。</p>		
③ 重点目標	<p>1 四校研を通して小中高一貫カリキュラム開発における先導的教育の継続実践を行、これをグローバル人材の育成、インクルーシブ教育の筑波型カリキュラムへの開発につなげる方策を研究する。</p> <p>2 6月と11月に教員免許状更新講習を実践し、教科ごとの協議会をより密度の濃い発展的な研究活動の場とする。</p> <p>3 11月の研究協議会では、本校の教育研究・教育実践を、時宜にかなった「アクティブラーニング」を中心テーマに発表し、本校教育の実践を発信する。</p> <p>4 オリパラ教育について継続研究し、グローバル人材の育成に資するカリキュラムを開発する。</p> <p>5 他大学・附属との連携を推進する。</p>		
④ 前年度の成果と課題	<p>1 各教科における学習指導の実践研究を推進し、研究協議会、教員免許状更新講習、研究紀要等で発信した。</p> <p>2 「四校研」を基盤とした小中高一貫カリキュラム開発の成果を元に、より先導的な教育実践を行うべく、グローバル人材育成とインクルーシブ教育のカリキュラム作りに着手した。</p> <p>3 教員免許状更新講習の実践を本校研究協議会との連携を重視しながら、その内容と方法の充実をはかった。</p> <p>4 大学や他附属校との連携を図りながら、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図った。特に、お茶の水女子大学附属学校とは、大学間相互の提携に基づき、小中の提携校進学第2回を、中高の提携校進学第1回を実施した。</p> <p>5 HPの更新や学校説明会の回数を増やす等、本校の教育実践の広報活動の充実を図った。特に生徒による学校紹介の場を設けたり、一般向け授業公開をしたりした。</p> <p>6 教職員の危機管理意識の涵養に努めたが、保護者対応等においては十分とはいえない状況も一部にみられた。</p>		

3 重点目標達成についての総括的評価

- 1 四校研を通して小中高一貫カリキュラム開発における先導的教育の継続実践を行い、これをグローバル人材の育成、インクルーシブ教育の筑波型カリキュラムへの開発につなげる方策を研究し、「『中期計画』中間まとめ」冊子を作成した。
- 2 6月と11月に教員免許状更新講習を実施し、教科ごとの協議会をより密度の濃い発展的な研究活動の場とした。
- 3 11月の研究協議会では、本校の教育研究・教育実践を、「アクティブ・ラーニング」を支える「深い学び」を中心テーマに発表し、本校教育の実践を発信した。約700名の参会者を迎え、盛会であった。
- 4 オリパラ教育について継続研究した。グローバル人材の育成に資するよう海外短期研修の枠を広げ、生徒のニーズに対応した。
- 5 お茶の水女子大学附属小学校からの提携校進学制度は、実施2年目となった。お茶の水女子大学附属高校への連携校進学は初年度であった。

4 来年度の学校課題

- 1 新学習指導要領の実施に向けて、カリキュラムの全体像に関する改善、土曜授業の在り方、道徳科の実施を円滑に行うための、方法を確立する。
- 2 教員構成の急激な若年化が進行しており、危機管理の徹底や学級経営、生徒指導などの充実に努める。
- 3 思春期を迎えた生徒及びその保護者への理解と適切な対応について研修し、学校全体での指導方針を確立し、教員のコミュニケーションスキルを高める。
- 4 内部進学入試や一般入試、提携校進学入試など、各種の入試のあり方について検討し、円滑な実施に努める。
- 5 東京学芸大学及び附属学校の改革や、先進校の事例などを生かし、本校の改善すべき点について考える。特に危機管理の在り方と対策について、よりよい方策を検討する。
- 6 教員の心と体の健康を維持していくため、働き方改革について具体的な行事削減の取り組みなど、勤務のあり方の適正化に一層努める。
- 7 校舎北側が土砂災害特別警戒区域に指定されたことを受け、安全確保や改善を図るように努める。
- 8 運営交付金が減額される中、学校経営の資金計画についての見直しを図る。

5 学校課題に向けての具体的な取り組み

- 1 研究部や教務部を中心に、改善策の実施に当たっての具体的な課題を炙り出し、対策を行う。
- 2 危機管理研修を行ったり、生徒部長を中心とした生徒情報の共有を一層徹底したりし、諸問題の予防と、即時解決に向けて生活指導のマニュアルを改良する。
- 3 スクールカウンセラーを講師とした研修を行い、生徒・保護者理解の促進と、外部の専門家との繋がり等について改善を図る。
- 4 昨年度に引き続き、内部・外部・提携等、それぞれの入試の特設委員会や校内研究会を通して、入試制度改革についての検討を継続する。
- 5 他の附属学校が、どのような改革をしているのかを把握し、参考にする。
- 6 先進企業の働き方改革を参考に、学校の業務改善を図る。
- 7 土砂災害特別警戒区域に指定されたことを、保護者及び生徒に周知する。警報発令時には、生徒の安全を確保し、フェアキャスト配信などで対応する。大規模な土留め工事の実施について、関係各所に相談する。
- 8 将来を見通し、各学年の集金額や寄付について等、資金計画を立案する。

6 成果物一覧（出版物・紀要・書籍等）

研究紀要第71号 2019年3月
四校研活動報告（平成28～30年度）「中期計画」中間まとめ

学校評価（自己評価）報告書（項目別表）

学校名	筑波大学附属中学校
-----	-----------

項番	評価項目	具体的評価結果
2-1-2	生徒理解に必要な個人的資料や、進路情報についての収集・活用の状況	6月に各学年「生活実態調査」を行った。この調査は30年間に渡り継続して行っている。各学年NRT（標準学力検査）を実施し、その後の学力の経年変化を研究した。体力についても、各学年4月に保健体育の授業を中心に体力測定を行った。さらに、「いじめの実態調査」も実施した。担任は、生徒一人一人と、年間4回個人面談を行い、保護者とも個人面談を最低年1回、また必要に応じて随時行った。これらの情報や資料を総合して、生徒理解や生徒指導・進路指導に活用した。
4-1-1	児童生徒を対象とする保健（薬物乱用防止、心のケア等を含む）に関する体制整備や指導・相談の実施の状況	HRHでは適宜、健康教育の時間を確保した。附属学校教育局の心理職の先生方と連携し、「メンタル調査」を実施した。薬物乱用防止については、保健体育科を中心に指導し、全校集会で校長講話の中で触れたり、薬物乱用防止に関連する研究の成果をポスターにして廊下に掲示したりするなど、その防止に努めた。保健室と管理職・担任との連携を密にし、早期発見に努めている。
8-1-1	授業研究の継続的实施など、授業改善の取組の状況	11月に研究協議会を実施した。全教科及び道徳の研究発表を行い、参観者は約700名で盛況であった。校内授業研修会を数回実施し、他教科の授業見学を行った。また附属小学校や附属高等学校の取り組みを学び合う機会を設け、小中高の授業を同日に参観と研究協議の場を設けた。
8-1-5	臨時採用・非常勤講師等の非正規採用教員の資質の確保・向上に向けた取組の状況	優秀な非常勤講師やALTを確保するために、保護者の後援会費から講師謝金を補填している。東京都の非常勤講師と同水準になるようにした。
14-1-1	入学者選抜	入学者選抜の前段階に当たる募集の段階での本校の魅力のPRに努めた結果か、応募者が増え、合格後の辞退者が減少した。本校が持つ「実験校としての責務」に耐えうる生徒を公正・公平に、ミスなく選抜するため、入試問題の作問や点検の手順を見直した。
14-1-2	大学との連携・協力	四校研を通して小中高一貫のカリキュラム研究を行った。また、教員免許状更新講習の実践演習を6時間、年2回実施したり、オリンピック・パラリンピック教育に協力したり、大学との連携・協力を図っている。
14-1-5	国際交流・国際貢献	シンガポールのホアチョン中等学校との交流会を実施するとともに、春休みに1名の中学生がホアチョン校へ附属高校生とともに短期留学を行った。また米国への短期留学も派遣人員を増やして国際教育を推進し、帰国後は成果の還元を行った。 海外からの視察も積極的に受け入れ、授業公開の後、質疑応答を行い、日本の教育について説明し交流を深めた。来校者は、インドネシア教育省視察団、タイのコンケン大学、北京市建華実験学校、韓国中学校教員、JICA 研修員など5か国以上にわたった。